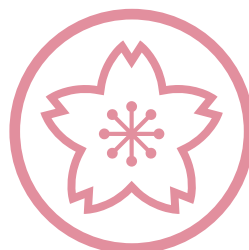


小金井市産業振興プラン

概要版

賑わいの形成・循環でまちの活性化を目指して



令和8年3月
小金井市

小金井市産業振興プランの目的

小金井市産業振興プランは、将来にわたって活気があり、楽しく豊かに暮らせるまちであり続けることを目指し、今後5年間の産業振興の目標や方向性を整理するために策定する計画です。

本市は、新宿駅や吉祥寺駅、立川駅などの都心や賑わいのあるエリアにアクセスしやすいことに加え、生活やサービスの質を重視する市民の特性もあり、質が高くユニークな「小商い」が市内に点在していることがまちの魅力となっています。その結果、全国的に人口減少が進む中であっても、本市では人口の増加が続いています。更に、武蔵小金井駅前等の再開発による大型商業施設の立地などにより、今後も利便性の向上が見込まれます。

こうした特性を踏まえ、都心へのアクセスの良さだけでなく、身近な地域で楽しく豊かに暮らせる環境をつくるため、事業者、市民、行政などがそれぞれの立場で賑わいを生み出していきます。また、その賑わいを持続していくためには、しっかりと収益を上げられる事業者を増やし、地域産業の基盤を整えていくことが重要です。

本プランは、こうした取組を通じて、市民と事業者の双方にとって活力あるまちを実現することを目的とします。

賑わいづくり

賑わいは、市民が出かける目的地があり、そこに市民や市外の人が繰り返し出かけることで生まれます。そして目的地での買い物が地域経済を支え、周辺にも好影響を広げていきます。そのような経済の原動力となる賑わいをつくっていきます。

地域産業基盤の形成

賑わいをつくり続けるためには、利益を出し、地域経済を牽引する「稼ぐ事業者」が不可欠です。そのような事業者を増やし、その活動を中間支援団体が支える体制を構築し、地域産業基盤をつくっていきます。



産業振興の方向性

事業者のみならず、行政や商工会、商店会、商店会連合会、観光まちおこし協会という産業振興における中間支援団体、そして市民団体や教育機関とも連携しながら、賑わいづくりと地域産業基盤の形成を推進し、産業振興に取り組みます。

方針 1

暮らして
いて
楽しい
・
訪れて
楽しい
魅力
を生み
出す

考え方

小金井市は
駅周辺だけでなく、身近な生活
圏においても商店街や公園、農地など多
様に過ごし楽しむことのできる場があることが
特徴です。この特徴を活かし、市内各所で「立ち寄
りたくなる」「誰かに話したくなる」ような体験がで
きる機会をつくり、目的地を増やしていきます。機会
を提供するのは商店・飲食店はもとより、公園や農
地などのオープンスペースを活かしたイベントも
含まれます。多様な主体とともに場をつくり、
日々の暮らしに近いところでの魅力
をつくっていきます。

プラットフォームとしての道草市の運用促進

継続していく既存事業

小金井の個性的な小商いや市民活動が出会い、
挑戦できる場「道草市」を、魅力創出の基盤と
して運用します。商店・市民・農家などが協働
する場づくりを通じて、生活圏での目的地形成
やコミュニティ醸成を図ります。



オープンスペース活用事業

継続していく既存事業

多様な主体と協働し、公園や農地、空き家といっ
た身近な場所を活かした企画を支援します。市
内の公園や農地などのオープンスペース活用を
広げ、生鮮産品の出張販売などによる買物支援
も検討し、地域の魅力を体験できる機会を増や
します。



提案型事業の検討

今後実施を検討する事業

市民・事業者・創業者などから小金井での暮らしや地域価値を向上しようとする
事業・活動等を公募し、賑わいづくりや地域産業基盤の形成につながる提案に対
して、事業・活動を実現するための継続的な支援を行い、魅力の創出・磨き上げ
につなげる公募プログラムを検討します。

方針2

魅力を生み出す人を育み、増やす

考え方

魅力を生み

出すためには、その創り手となる人が不可欠です。そのため挑戦しようとする事業者及び賑わいづくりに寄与するイベント等の企画者・運営者を後押しし、育てていくことに取り組みます。更に、創り手を支える人材も不可欠であることから、スキルやノウハウを有する現役世代はもとより、学生の積極的な関わり、シニアの活動、障がい者の活躍など、幅広い市民が賑わいづくりに関わり、多様性と活気に満ちた賑わいづくりに取り組みます。

東小金井事業創造センター（KO-TO）の運営

継続していく既存事業

公的な創業支援施設（KO-TO）は、創業希望者やスモールビジネスに対し、相談、実践、交流、資金調達を一体的に支援します。「やってみたい」を形にする拠点として機能を高め、独立した事業者の市内での営業継続を後押しします。



農工大・多摩小金井ベンチャーポートの支援

継続していく既存事業

東京農工大学内にて運営されている農工大・多摩小金井ベンチャーポートについては、大学が有する知見・技術を活用した創業・起業を志す入居者に対して、産官学連携により創業・起業に向けた総合的な支援を行っていきます。



創業支援施設入居者の市内定着に向けたニーズ調査

今後実施を検討する事業

創業段階の事業者が市内で長期的に活動できるよう、東小金井事業創造センター（KO-TO）と農工大・多摩小金井ベンチャーポートの入居者を対象として立地・テナント・働く環境等のニーズを把握します。この調査結果をもとに創り手が成長し、地域に根ざすための環境整備を関係各課と進めます。

方針3

魅力を生み出す人をつなげ、
応援する人を増やす

考え方

「多様な人が
関わり合い、支え合う」ことを
実践し、それをまちの価値として高めて
いくためには、商店・飲食店を核として消費者
とつなぎ、商店会を通じて地域をつなぎ、支え手
となる市民と事業者・団体等をつないでいくことを
目指します。更に、行政、商工会、商店会、商店会連合会、
観光まちおこし協会などの地域や事業者の状況を把
握する立場にある団体の横の連携を深め、市民や
事業者も交えた対話の機会をつくるなど、創り
手と支え手の緩やかなネットワークを
形成していきます。

まちの賑わい創出事業

継続していく既存事業

観光まちおこし協会によるまちの賑わい創出事業では、担い手の育成に取り組んでいます。賑わいの輪に入り、関わりながら「やってみたい」を実践する側へ移行できるよう後押しし、共に活動する仲間を増やしていきます。



わくわく都民農園小金井

継続していく既存事業

都市農地を活かした農体験や交流の場を通じ、市民・農家・事業者がつながる機会をつくります。農作業等で世代を超えた関わりを育むとともに、農産物を活用した事業者との連携を広げ、地域を支え合う関係性の基盤を形成します。



スキルを有する市民と事業者のマッチング方策の検討

今後実施を検討する事業

高いスキルを持つ市民が多い特性を活かし、多様な困り事を有する商店・飲食店等と、その困り事の解消につながるスキル・ノウハウを有する市民をつなげる取組について、市と中間支援団体が連携して検討します。

方針4

考え方

小さく地域に根差した魅力に気付いてもらうよう、日々の暮らしの中で立ち寄りたくなる店や地域に愛着を感じられる場所のように生活に近い場所での魅力、また、そのような魅力を生み出そうという活動に特に着目し、その魅力を伝えるプロモーションに取り組みます。そして、その取組を市民参画によって推進することで、「多様な人が関わり合い、支え合う」ことそのものが地域性として共有されるよう努めます。

魅力を伝える
住みたい・働きたい・訪れたい
訪れたいと思うような

シティプロモーションの展開

継続していく既存事業

「ほどよく都会、ほどよく田舎」な小金井の魅力をも市民目線で発信します。ガイドブックの発行に加え、アニメ等のコンテンツ産業活用も検討します。市民と事業者が主役のプロモーションを通じ、愛着と誇り溢れる「住みたい・訪れたい街」を育みます。



市内コンテンツ産業と連携した回遊の促進

継続していく既存事業

市内のアニメやマンガなどにかかわるコンテンツ産業との連携を深め、ツアーやスタンプラリーなどを通じて街を巡ってもらうことを促します。コンテンツの力を活かし、駅から離れた商店街や飲食店にも足を運んでもらう機会づくりに取り組みます。



SNS等の活用による魅力発信の活性化

今後実施を検討する事業

商店・飲食店の情報発信力を高める講座等の支援に加え、魅力的な発信を行う市民と連携し、投稿の再掲などで認知度を向上させます。また、ゲーム感覚で地域の魅力を発信する仕掛けを導入し、情報発信に協力する市民等を増やす手法を検討します。

方針5

誰もが安心して出かけられる環境をつくる

考え方

人が商店・飲食店に出かけるためには、その魅力だけでなく、「アクセスのしやすさ」も重要です。市内での移動手段はバスや自転車、徒歩が多い状況の中では移動環境によって商店街利用や回遊性が左右されます。ただし、住宅市街地が形成されている中では道路拡幅などの基盤整備は困難です。そのため、移動に際しての安全確保はもとより、市内バス運行の最適化を図りつつ、自転車でのアクセスしやすさを高めることを目指します。

LINEを用いた道路情報の収集（他課実施事業）

継続していく既存事業

市民が日常生活の中で気付いた道路損傷及び危険箇所をLINEで迅速に通報できる仕組みを活用し、細やかな維持管理と安全確保を図ります。地域の目による情報提供は、商店街への安心したアクセス及び歩行環境の質を高める要素となり、身近な移動の快適性向上に寄与します。

多様な交通手段を複合化した持続可能な交通体系の検討（他課実施事業）

継続していく既存事業

バスの運転手不足、交通需要の変化などを踏まえ、市内交通の持続可能性と利便性を両立するために、バス、自転車、徒歩、シェアモビリティなどを複合的に捉えた交通体系の検討を進めます。商店街や地域拠点へのアクセスしやすい移動環境を整備し、回遊性の向上及び地域活動の活性化につなげます。

空き店舗等を活用した駐輪場の確保・整備方法の検討

今後実施を検討する事業

商店街へのアクセス性を高めるためには駐輪場が必要となります。ただし、そのための土地取得が容易でないことから、商店会及びテナント所有者と連携し、空き店舗及び空きスペースを活用した駐輪場の確保・整備の方策について検討します。

方針 6

事業・活動を継続していくための仕組みをつくる

考え方

商業・工業事業者が地域産業基盤となっていく上では、操業・営業を続けることのできる事業所の「体力」が大切です。経営状況の改善に向けた財政的支援だけでなく、雇用や人材育成、営業経費の支援など、幅広い支援を行い、事業所としての持続可能性が維持・向上されることを目指します。

小規模事業者の経営支援

継続していく既存事業

設備更新や仕入れ等の資金需要に応えるため、小口融資のあっせんや保証料補助で資金調達を支援します。商工会と市が連携し、事業者が最適な制度を選べる相談体制を強化します。経営体力を維持し、融資を必要とする事業者を後押しする使いやすい支援を目指します。

小規模事業者向けDX導入サポートの検討

今後実施を検討する事業

情報化が進む中、商店等の電子決済導入は集客を左右します。また、ICT等の導入は人手不足解消と効率化に繋がりますが、小規模事業者は資金やノウハウ不足という課題があります。そのため、市と商工会が連携し、小規模事業者のDX導入サポートを検討します。

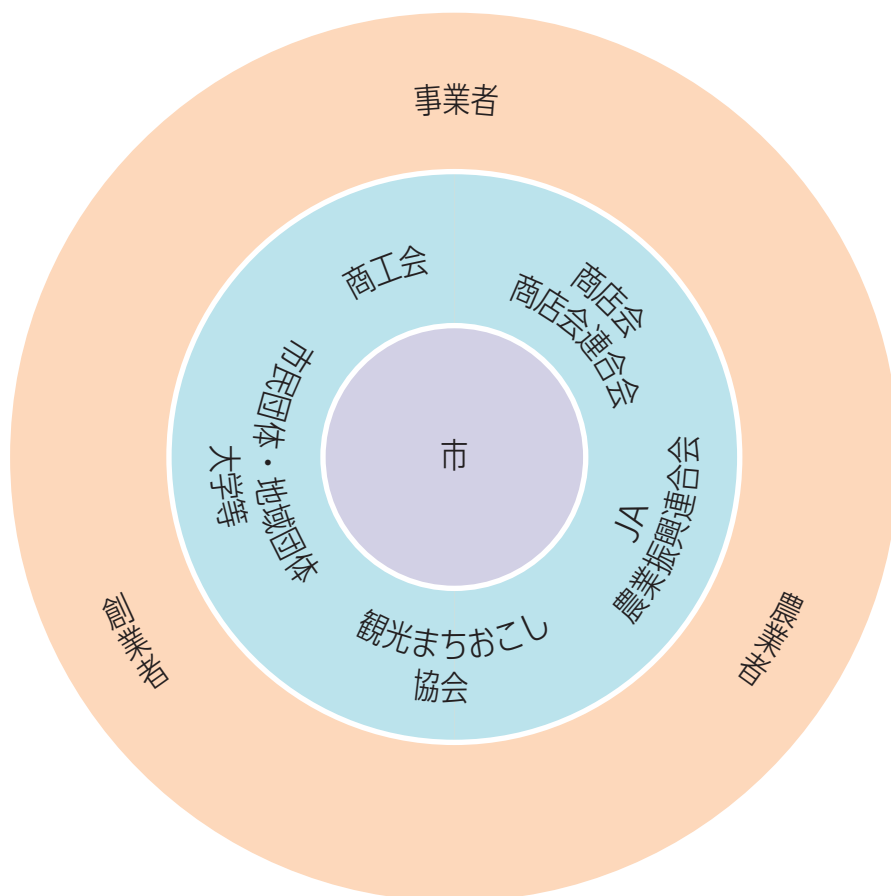
地域産業の担い手育成のための支援の試行と検証

今後実施を検討する事業

稼ぐ事業者の継続や育成のため、事業承継や人材育成を促す研修、資格取得、展示会出展への支援を検討します。事業者の強みである技術やノウハウが継承されるよう、商工会等と連携して持続可能な地域産業基盤の形成を図ります。

小金井市の役割

事業者、創業者の営業・操業と市民の応援・参画のためにも、
市は産業振興の旗振り役として、
事業者、創業者や団体、市民一人一人の活動に対して支援が行き届くよう、
中間支援団体の活動を支え、促していきます。
中間支援団体である商工会、商店会、商店会連合会及び観光まちおこし協会の活動が
相乗効果を生むよう連携を促すことにも取り組みます。



各主体の役割

事業者、創業者

事業の継続や後継者の確保に取り組みます。また、商工会などを通じて他の事業者や市民とつながり、地域活動にも関わりながら、まちの賑わいや魅力づくりに貢献することが期待されます。

商店会、商店会連合会

魅力ある商店街づくりを進め、人が訪れる場をつくります。また、加盟店同士が支え合いながら事業を続け、関係団体と連携して市内全体の商業の活性化を進めることが期待されます。

商工会

事業者の経営相談や情報提供を行い、事業の継続を支えます。また、課題を把握し、市や関係団体と連携して支援につなげるとともに、地域の取組に事業者や市民を巻き込み、活性化を進めることが期待されます。

観光まちおこし協会

市民の目線で地域の魅力を発信し、関心を広げます。また、関係団体と連携して活動の支援を行い、市民発の取組や新たな事業を支えながら、地域の賑わいづくりを進めることが期待されます。

農業者、JA、農業振興連合会

農業者は、農業を安定して続けながら農地を守り、特色ある農産物を生産します。JA等は関係団体と連携し、農業振興を進め、地産地消や商品開発を通じて農業の魅力を高め、発信していくことが期待されます。

市民団体・地域団体、大学等

地域や商店街の活動に関わりながら魅力づくりを支えるとともに、事業者や各種団体と連携し、学びや福祉、地域コミュニティを結び付けた取組を通じて、地域全体の活力向上に寄与することが期待されます。

- 小金井市産業振興プランの本編を読みたい

小金井市ホームページからご覧いただけます。

https://www.city.koganei.lg.jp/kurashi/sangyou_rousei/sanshinplan.html



- プランの内容について問い合わせたい

小金井市市民部経済課にお問い合わせください。

〒184-8504

東京都小金井市本町 6-6-3

TEL：042-387-9831

E-mail：s030399@koganei-shi.jp